



第17回全日本高校模擬国連大会報告

本校公式 HP では既にご紹介しましたが、11月11日（土）・12日（日）に渡り渋谷の国連大学本部ビルにて全日本高校模擬国連大会が開催されました。9月にオンラインで実施された予選を通過した84チームが全国から集結しました。本校からはAチーム（高校2年1組浅井輝君と2年3組後河内琢磨君）、Bチーム（高校2年6組尾関裕宜君と高校1年5組阿部潤太君）の2チームが参加しました。今年の議題は「ロシアの侵略に起因するウクライナの人権状況」というまさに国際社会が直面するテーマが設定されました。Aチームは日本大使、Bチームはコートジボワール大使として議論に挑みました。近頃は中東での紛争がクローズアップされてウクライナ情勢はやや注目度が下がっていますが、現在も戦闘は続いており二度目の冬を迎えても解決の糸口は見出せていないのが現状です。どんな戦争でも一番つらい思いをするのは何の罪もない一般市民や子供達ですが、各国大使は自国の国益を背負って活発な議論を交わしました。2日目の会議後に表彰式があり、2議場のそれぞれから最優秀賞と優秀賞計4チームが発表されました。B議場の最優秀賞として本校Bチームが選ばれ、他校の3チームと共に来年4月下旬にアメリカ・ニューヨークで開催される第18回高校模擬国連国際大会へ日本代表として派遣が決定しました。本校としては2年連続での国際大会出場となります。Bチームの栄誉を讃えると同時に惜しくも受賞は逃したもののAチームの議論をリードする積極的な会議行動に拍手を送ります。両チームから大会の感想を寄せてもらいましたのでぜひご覧ください。

Aチーム 高校2年1組 浅井 輝 高校2年3組 後河内 琢磨

全日本模擬国連大会に参加しました、浅井輝、後河内琢磨です。

9月の予選会、11月の本大会と長期間できる限りの準備をしてきただけにこの結果になってしまい本当に悔しいです。

結果としては残念でしたが、同じ志を持つ他校の生徒と泣きあい励ましあったこと、他校の顧問の先生からお声がけ頂いたこと、ここまで1つのことに熱心に向き合い努力できたことはこれからの人生の糧になると思っています。

5年間で模擬国連を通じて様々なことを学ぶことができました。今まで関わってくださった全ての人にこの場を借りて感謝申し上げます、本当にありがとうございました。

Bチーム 高校2年6組 尾関 裕宜 高校1年5組 阿部 潤太

僕らが本格的に模擬国連を始めたのは中2からですが、その頃から目指してきたこの大会にて最優秀賞を受賞させていただき本当に嬉しく思っています。

ペアとして一緒に練習会議に出始めたのは昨年の12月頃からで、初めて本格的に組んだ会議では、お互いを「先輩」「後輩」といった関係で認識していました。しかし、約1年間、9回の会議を経て、強く信頼できるパートナーとして、友人として本選に挑むことができました。

会議の議題は、「ロシアの侵略に起因するウクライナの人権状況」でした。会議設定日時は2022年3月3日であり、ちょうどウクライナが侵攻されてから1週間後の設定です。私たちはこの大会に臨み、コートジボワール大使を担当しました。交渉の過程で他の大使と多くの対立点がありましたが、中でも「ロシアの侵略をどの程度非難するか」という点で大きく対立しました。結果的には、大会2日間の交渉を通して自分たちの提出した決議案が、多数の賛成で採択されたのは、交渉が比較的うまくいったということを反映しているのではと感じています。

来年に行われる世界大会は今大会と異なり、会議がすべて英語で行われるので様々な壁が予想されます。それでも、準備をしっかりと行い、全力で臨もうと思っています。



左から尾関君・阿部君・浅井君・後河内君



公式スピーチは英語で行います。



非公式討議 スケッチブックを使って政策をアピールしグループを形成する風景。



非公式討議 時に1対1の交渉を行うこともあります。



非公式討議風景



B チーム最優秀賞おめでとうございます。

JICA 地球ひろば難民企画展の紹介（無料）

JICA（国際協力機構）より難民に関する企画展の案内が届きましたのでご紹介します。皆さんはミャンマーに暮らすロヒンギャ族というベンガル系イスラム教徒のことを聞いたことがあるでしょうか？ミャンマーの複雑な政治的事情も絡み現在ロヒンギャの人々は正式なミャンマー国籍が剥奪されている状態です。仏教徒との対立もあり、多くのロヒンギャの人々が迫害を逃れるためにバングラデシュに避難する事態になりました。しかしバングラデシュからも必ずしも快くは受け入れてもらえるとは限らず、ここでも何の罪もない人々が日常のありふれた生活を奪われています。国連も解決に向けて努力はしていますが、大きな進展は見えていません。今回の展示を通じて日本で暮らす私たちには自分ごととして受け止めることが難しい難民問題について知るきっかけになればと思います。社会科のレポートで難民問題を扱ったり、将来国際機関に勤務したいと思っている生徒諸君は見学してみたいはいかがでしょうか？

この企画展は、世界各地の難民が直面する困難や選択を疑似体験しながら、難民の“いま”に向き合い、私たちは何ができるのか考える展示となっています。

いま、世界では紛争や迫害により、1億人以上の人々が故郷から避難を余儀なくされています。もし、あなたが故郷を追われ、逃げなければならなくなったら？一体何を持って行き、どのような道をたどるのか。家族、友人、言語、文化・・・昨日までの当たり前が奪われ、予測できない日々を生きるあなたは、何を感じ、どう行動するのか。

あなたはどう生きる道を選びますか？

もう一人のあなたの人生が始まります。（公式HPより転載）

期間：2023年11月29日（水）～2024年4月11日（木）

開館時間：10：00～18：00

第1・第3日曜日と年末年始12月29日～1月3日は休館

場所：JICA 地球ひろば（東京都新宿区市谷本村町10-5 JICA 市谷ビル

JR・東京メトロ市ヶ谷駅から徒歩10分

入館料：無料

Today, I Lost My Home

想像していなかった今日を生きる

—JICA地球ひろば難民企画展—



2023年11月29日(水)–2024年4月11日(木)

● 開館時間 10:00–18:00

● 体験ゾーン(展示・相談スペース) 休館日 第1・第3日曜日

※ 最新の開館情報はウェブサイトをご確認ください。



主催: JICA 協力: UNHCR駐日事務所 国連UNHCR協会

国際協力の体験型展示施設

JICA地球ひろば **入館無料**

市ヶ谷駅(JR・メトロ)から徒歩10分

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町10-5 JICA市ヶ谷ビル
TEL: 0120-767278 / 03-3269-9090